

平成 30 年度
事業計画書

社会福祉法人 山王平成会

目次

法人本部	1
ごしよの保育園	4
かわしり保育園	11
阿久和保育園	17
西柴保育園	24
阿久和キッズ	30

平成 30 年度 社会福祉法人山王平成会 法人本部事業計画

1. 基本方針

平成 30 年度は、当法人として大きな節目を迎える。

法人の中長期計画の一環として、新規園（上永谷西保育園の民間移管）の立ち上げ準備、西柴保育園の園舎老朽化に伴う建て替え工事を行う。

また、保育所保育指針の改定に伴い、各園で仕事の進め方、考え方等について一部見直しは図っていかねばならない。そして、今後保育業界が目指すべき姿を十分理解した上で、保育理念のキーワードである“子どもの最善の利益”を追求していく。各園に対して新保育所保育指針を理解するため、OJTの推進に加え、OFFJ Tも活用し意識改革を促していく。

一方、少子化の波、株式会社の保育業界への参入、幼稚園・保育園から認定こども園の移行、都市部での企業主導型保育事業の普及、そして最近では待機児童の定義変更による待機児童増加への対応、幼児保育の無償化の波と、保育業界全体に大きな変化が押し寄せている。

法人としては、常に時代の変化に迅速かつ臨機応変に順応できる組織づくりの準備を早い段階から計画的に進める。そのためには、中長期的な視点で先見性をもち見据えていく必要があるため、外部からの情報収集においても今まで以上に敏感にアンテナを張り巡らす。それらの情報を参考にしながら、理事会、評議員会等を通じ経営方針を定めていく。

基本的には、何事も法人と現場の考え方に極力ギャップが生じないように報連相を重視し、業務を確実に遂行していく。

< 第二種社会福祉事業 >

- ・ 保育所の経営
- ・ 小規模保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 病児保育事業

< 各保育園の定員及び職員数（平成 30 年 4 月 1 日見込み） >

保育園名	定員	職員
ごしよの保育園	180 名	54 名
かわしり保育園	60 名	25 名
阿久和保育園	90 名	32 名
西柴保育園	60 名	26 名
阿久和キッズ	19 名	11 名
上永谷西保育園・開設プロジェクト	(H31 年度より)	9 名
合計	409 名	157 名

2. 重点施策

下記の5項目については、主に各園長、事務長と連携し、戦略的かつ協調性を持ち業務を遂行していく。

具体的には、理事会、評議員会、法人主催の園長会、四半期毎の予算管理のマネージメントレビュー、職員会議の場等を活用し、中長期計画、各園の事業計画、予算管理についてPDCAを回し、成長性ある魅力ある法人を目指す。

(1) 民間移管園(上永谷西保育園)の円滑な引継ぎ

昨年11月30日に上永谷西保育園(公立保育園)の民間移管が採択された。これに伴い、平成30年度は公立保育園の職員と当法人の職員、新規採用職員が中心となって引継ぎを順次実施していくことになる。職員間の引継ぎに加え、利用者、地域の皆様との関係性の構築、所轄の官庁との連携も、謙虚な姿勢で取り組んでいく。

また一方で、保育士不足が続いている中、今まで積み上げてきた経験、実績をもとに採用のノウハウ、人脈を十分に活かし、早い段階から人員体制の確立を目指す。

平成31年度から本格的に当法人に移管されるので、本年度の引継ぎ期間をいかに有効に過ごすかが大きな焦点となる。法人本部としても、全面的にバックアップしていく。

(2) 西柴保育園の園舎建て替え

園舎の老朽化に伴い、大きな地震などによる天災で子どもたちに被害が及ばないようにするため、今まで以上に安全・安心の確保に努める。

0歳児保育を新たに開始することで、乳児の待機児童解消に貢献する。

0歳児クラスが加わることで園全体の活性化を図る。

0歳児クラスが加わることで、更なる職員のチームワーク強化、保育の質の向上に努める良い機会となる。

地域交流スペースを新たに確保することで、地域と一体となって子どもたちの発達を効果的に促すことができる。

一方で、平成30年度は仮園舎での生活が大部分を占めるため、継続して子ども達の安全・安心にも十分に配慮した上で保育運営を行っていく。

(3) 法人としての教育体系の確立

平成29年度より処遇改善が導入されたことにより、各役職に求められる具体的な役割を明確に打ち出していく必要がある。そこで平成30年度からは、キャリアアップシート(各役職に対する業務内容、能力・知識、研修項目、資格取得等をマトリクス表にしたもの)を職員全員に周知徹底を図っていく。

年3回実施している職員面談で活用している目標成果シートにキャリアアップシートの内容を反映させ、個々のスキルアップ向上に繋げていく。また、キャリアアップシートは、運用していく中で修正点、追加点が発生した場合は、法人主催の園長会等を通じて各園共通認識のもとで慎重に見直しを図っていく。

将来的に人事考課規定を導入する予定なので、その前段階の基準として考えている。

(4) 予算管理の精度向上

予算管理の一環として四半期レビューする際、前年度の実績値及び、原因究明した内容も今まで以上に有効活用し、分析精度を向上させる。

昨年度の処遇改善 ・ の実績をもとに、平成 30 年度の予算編成に活かしていく。

紹介会社主催（有料）の職員の就職相談会は、採用面、資金面においても効率的に採用できることが判明した。そのため今後も継続していくが、複数園の職員の応募をすることを踏まえると、平成 30 年度からはこの費用は、法人本部予算で計上しておく。平成 30 年度は、民間移管の準備期間（新規職員採用）、西柴保育園の園舎建替を考慮すると、各拠点の支出は必要最小限に留めていきたい。そのため、経理職員と綿密な報連相を取りながら予算管理していく。

(5) 計画的かつ戦略的な職員採用

予算進捗状況を確認しながら、「職員が業務改善を十分に検討できる時間の創出」、「有給休暇を推進できる体制作り」、「各種研修・セミナーに参加しやすい環境の構築」、「人員の流動化の推進」等を見据え、必要に応じて職員採用を前向きに検討する。

中長期的な人財育成の視点も見据え、新卒の採用も継続的に実施していく。並行して、学校との信頼関係もより深めていきたい。

横浜地区においては、平成 31 年度から本格的に上永谷西保育園を運営していく点、同時期に西柴保育園が 0 歳児保育を開始する点を踏まえると、平成 30 年度は新卒、キャリア職員を積極的に新規採用していく。

今後は、「保育の質を向上」、「職員が存在意義を感じ取れる、働きやすい職場環境の構築」を目指し、計画的かつ戦略的に職員採用を進めていく。

以上

平成 30 年度 ごしよの保育園事業計画

1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 病児保育（体調不良児対応型）事業
- ・ 障害児保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

【保育園をめぐる状況】

平成 29 年度は第三者評価を受審し、10 月に 2 回の訪問調査を経て、12 月に結果公表に至った。評価結果や保護者アンケートの中から当園の良い点を知ることができたので、職員の励みとなった。30 年度からの保育にも活かしていきたい。

地域交流に関しては、28 年度に引き続き中高一貫校との避難訓練等で交流をすることができた。また、29 年度より近隣の障害児入所施設と行事等で交流を持つことができた。

設備・備品に関しては、開園して 18 年目を迎え、少しずつ故障したり劣化を感じるものが出てきたりしている。計画的に取り換えたり、リースに切り替えたりするなどしていきたい。

全体的には、保育中に園児に大きい怪我はなく、週 1 回取り組んでいるリズム遊びの効果も出始めているのではないかと感じている。現在は定員 180 名のところ、193 名の子どもたちが在園しているが、3 月までに 2 名入園し、195 名になる予定である。

【基本方針】

「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域と連携を図りながら家庭や地域と連携を図り子どもの発達を促します」を保育理念とし、愛されている・受け入れられているという心地よさを感じながら、仲間と共に生きる力の基礎となる、「生活する力」「遊ぶ力」「考える力」「楽しむ力」を身に付けることができるよう、家庭や地域と心を通わせながら子どもの成長を促していく。

3. 重点施策

(1) 職員の質の向上に向けた取り組み

平成 29 年度は、第三者評価の受審を行うことができた。勉強会の中で職員の視点の鋭さや保育に対する深い考えを知ることができた。この経験や評価結果を踏まえ、良い部分を伸ばし、改善点を意識しながら園や職員の資質向上のための取り組みを行ってきたい。主な取り組みとしては、園内研修・研究の実施、園外研修（キャリアアップ研修含む）への参加、各会議を効率的に実施する等を考えている。また、保育所保育指針が改定になることで、全体的な保育の計画を始めとする指導計画等の内容を見直し、保育に効率的に反映させることができるよう取り組んでいきたい。

(2) リズム・英語遊びの充実

平成29年度は、横浜で行われているリズム研修に年間を通して参加し、そこで学んだ事を勉強会を通して職員に周知、共有してきた。子どもたちの成長にどのように影響するのかを全職員が把握し、意識しながらリズムを行うことができたと感じる。研修で頂いた資料等を参考にしながら、来年度も新しいリズムを保育に取り入れていく。また、ごしょの保育園の独自の資料も作成し、リズムに関する知識をより深め、共通理解を図っていく。

平成29年度から取り入れている英語遊びでは、月に2回の取り組みの中で子どもたちへ効果的に浸透してきていることを感じた。29年度の反省や課題を踏まえ、30年度の活動も充実させていく。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備(50万円以上を対象)

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
トイレのガラス壁の設置 (0・1歳児)(2歳児)	年度前半	1,200,000円(0、1歳児) 1,875,000円(2歳児)	プライバシーの強化 衛生面の強化

(2) 備品購入計画(1品または纏めて50万円以上を対象)

*現在のところ予定はなし

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0歳児

安全な環境のもと、保育者に様々な感情を受けとめてもらい、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活をする。

1歳以上3歳未満児

個々の発達に合わせて愛情豊かなやりとりをし、意欲的に身近な環境に関わったり、身の回りの事ができるようになる。

(2) 幼児保育部門

3歳以上児

- ・自分の健康に関心を持ち、身の回りを清潔に保つことができるようになる。
- ・様々な事に興味や関心を持つ中で、仲間の中の一人として主体的に、かつ協同的に生活することができるようになる。
- ・地域との交流の中で、様々な人や事物と関わり経験を豊かにする。

(3) 給食部門

- 保育所保育指針の改定に沿った食育計画の立案と実施
- かわしり保育園との合同栄養士会の実施
- アレルギー対応

(4) 子育て支援部門

保育所を利用している保護者に対する子育て支援

保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるよう、信頼関係を築きながら関わっていくよう努めていく。その際は、保護者のそれぞれの状況に職員全員で配慮する。

地域の保護者等に対する子育て支援

地域の交流センターで行っている未就園児を対象に行っている子育て支援活動では、活動していることに満足せず、その意図を全職員が理解し保育所保育の専門性を活かした子育て支援ができるよう努めていく。また、昨年に引き続き保育園で取り組んでいるリズムを取り入れ、ごしょの保育園の魅力を地域にアピールしていきたい。

(5) 地域交流部門

近隣の中学校・高校との交流

29年度は、保育園から学園祭に出かけたり、地域の合同避難訓練に参加したりすることができた。また、中学校・高校からも、職場体験やボランティアなど、例年よりも多数要望があり受け入れを行うことができた。向かい合わせに立地していることで、他の教育機関よりも距離が近く交流がしやすい利点があるので相互の特性を理解・把握した上で災害時の対応も含め、効果的な交流ができるよう話し合いの場を設けながら交流していきたい。

障害児入所施設との交流

近隣に28年度に開所した若竹学園と、29年度から少しずつ交流を行うことができています。引き続き両園に無理のない形で、少しずつ交流を深めていきたい。

地域の福祉施設（シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）との交流

例年同様行事に子どもたちを招待していただくなど交流を設けることができています。30年度も、その機会を大切にしながら有意義な交流活動ができるよう努力していく。

(6) 姉妹園交流部門（かわしり保育園）

- ・ 厨房会議での交流、意見交換の継続
- ・ 保育、衛生（看護）会議での交流、意見交換を進める

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	29年度継続児	30年度新入児	合計
0歳児	1	29	30
1歳児	33	0	33
2歳児	33	0	33
3歳児	30	1	31
4歳児	31	1	32
5歳児	34	0	34
合計	162	31	193

*0歳児は、現在のところ30名受け入れ可能ということで市役所に伝えている。30年度の入園決定の状況を踏まえて、31年度に向けて0歳児の枠を3名ほど増やす可能性あり

*「30年度新入児」は、市役所から内定数として通知が届いている。

(2) 職員数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理補助	事務員	看護師	合計
正職員	1	16		1	0	1	2	21
嘱託職員		6		2				8
パート職員		20	2		2	1		25

7. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入日	
	おおきくなったねおめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	保育園懇談会・ごしょの会総会	保育園や保護者会の昨年度の活動内容報告や今年度の方針について話し合う。
5	端午の節句集会	みんなで端午の節句をお祝いする。
	内科検診	3回に分けて園医の細谷先生に来ていただき検診を受ける。
6	保育参観・参加	お子さんと一緒に保育園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。
	歯科検診	園医の平塚先生に来ていただき、検診を受ける。
7	お泊り保育	年長児が岩城少年自然の家で一泊する。
	七夕集会	子ども達の願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。
	夏まつり	園児とその家族と地域の方で、夏まつりを楽しむ。
	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園児を応援しに行く。
9	運動会	御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びや競争をして楽しむ。
	自由保育参観・参加週間	保護者の方にも“1日保育士”になってもらい、保育に参加してもらう。
10	遠足	学年ごとに園バスに乗って出かける。 (3歳以上児は家庭からお弁当を持参)
	内科検診	3回に分けて園医の細谷先生に来ていただき検診を受ける。
	子育て支援 給食試食会	未就園児と保護者が保育園に来て給食を試食する。
12	発表会	普段の保育園での生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサにて行う。
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。
	個人面談(12~2月にかけて全世帯)	進級に向けて保護者と話をする機会を設ける。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いする。
	給食試食懇談会・ごしょの会総会	保育園や保護者会の今年度の活動内容報告をしたり、給食を試食してもらう。
	節分集会	みんなで集会をして節分についての由来を知る。
	年長保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。クラス懇談会では、卒園前の子ども達の様子についてお伝えする。
3	ひなまつり会	みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いする。
	卒園式	シルバーアリアの多目的ホールで、年長児の卒園をお祝いする。

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
申し送り	日2回
職員会議	月1回
厨房会議	月1回
担任クラス会	月1回以上
クラス会 (園長・主任・副主任・担任・補助保育士参加)	月1回
乳児会議(0～2歳児チーフ)	年4回
園長・主任・副主任会議	その都度
ケース会議	その都度
チーフ会	議案が上がる都度

9. 研修計画

【園内研修・研究】

保育所保育指針の改定に沿った保育の研究

29年度は、保育所保育指針の改定に伴い内容の理解を深めることができるよう、半年ほどかけて全職員で読み合わせを行った後、1月に白梅学園大学の汐見教授の講演を聞く機会をいただいた。30年度も読み合わせを行い、その経験を踏まえながら保育指針の内容に触れた研究テーマを各クラスで設定し、資料作りや実践を行っていく。

(例：育てほしい10の姿、主体的な活動につながる保育内容やあそびの環境構成、エピソード記録から子どもの育ちや子ども理解を考える、食育について、防災について、子育て支援につながる取り組み...等)

若手職員の育成

保育に関する知識や考えを深められるようなテーマを設け、個人で資料作りや発表等を行う。

姉妹園との交流・研修

姉妹園の保育を通じて、自園の良さと課題に気付くことができるような交流・研修を行っていく。

【園外研修】

月	研修名	月	研修名
4	秋田市地区保育士会総会	10	施設長会
	施設長会		後期南部地区幼保小連絡協議会
	園長等運営管理協議会		給食担当者部会
	教頭・主任等研修会		研究部会
			阿久和(阿久和キッズ)・西柴保育園運動会
	新規採用者研修会		
	10年経験者研修		
5	施設長会	11	主任保育士部会
	給食担当者部会		研究部会
	主任保育士部会		教頭・主任等研修会
	研究部会		新規採用者研修会
	看護師部会		施設長会
6	施設長会	12	阿久和(阿久和キッズ)・西柴保育園発表会
	主任保育士部会		研究部会
	調理員部会		施設長会
	研究部会		
	幹事会		
	10年経験者研修		
7	施設長会	1	施設長会
	給食担当者部会		給食担当者部会
	前期南部地区幼保小連絡協議会		研究部会
	主任保育士部会		10年経験者研修
	研究部会		
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		
	阿久和保育園夏祭り見学		
	10年経験者研修		
新規採用者研修会			
8	施設長会	2	施設長会
	主任保育士部会		主任保育士部会
	研究部会		研究部会
	10年経験者研修		南部地域子育て支援ネットワーク連絡会
	就学前・小学校地区別合同研修会		
9	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会	3	かわしり・阿久和・阿久和キッズ・西柴保育園卒園式
	調理員部会		施設長会
	乳幼児保育研修会		
	施設長会		
	10年経験者研修		
	新規採用者研修会		

* この他にも、各職員の年度目標と照らし合わせながら、随時研修の申し込みをしていく予定。

以上

平成 30 年度 かわしり保育園事業計画

1. 事業内容

- 保育事業
- 一時預かり事業
- 延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

< 保育園をめぐる状況 >

昨年度もあげたが、近隣の保育施設増加、認定こども園化に伴い、入所児童の変動が予想されたが、1月22日現在、69名の園児が在籍している。昨年度より少ない入所児童数ではあったものの、平均入所児童数としては64名を超えた。

秋田市がより保育施設を増加させたことで保育士数が激減し、各園でも職員の確保に工夫する様子が伺えた。かわしり保育園では、職員数が22名のスタートとなり、昨年度同様に一時預かりの受け入れを最低限の受け入れとし、園内の子ども達、保護者がいかに安心して、満足して当園に登降園してもらえるか、職員で考えながら保育を進めていった。

園内外の整備としては、中庭整備、外壁整備、2歳児の椅子・テーブルの購入、0歳児保育室の床の張り替えなどを行った。

地域交流としては、地域の方々の力を借りながら、カポエイラ教室、茶道教室などを開催した。昨年度よりも小学校との交流、幼稚園との交流を活発に行った。

今年度、昨年度、指針が改定されることにより、保育指針の読み合わせを行った後、改定委員のメンバーである汐見先生との勉強会も行うことができ、指針の理解が深まったように思う。また園内研究では、かわしり保育園の沿革、保育課程などを職員と読み合い、新指針への理解を深めながら資料作りができた。

< 基本方針 >

山王平成会の法人理念、保育理念、保育目標を念頭に入れながら保育運営を進めていく。また平成30年度も指針への理解、子どもへの理解を全職員で深め、実践していく。子ども達はもちろん、保護者、地域の方々に安心してもらえる保育園作りを目指す。

3. 重点施策

(1) 新指針の更なる理解、PDCAを意識した保育実践を行う。

新指針の読み合わせ、汐見先生との勉強会を行うことができ、職員の理解も進んでいる。今年度は、理解を踏まえた保育実践を行いたい。また職員間でPDCAが意識できていない時も見られるので、今年はより意識を深めていきたい。

(2) 子どもの最善の利益を考えた行事、園外活動の立案、実施、反省を行う。

園の自己評価を行った際、職員から行事の対応がうまくいかなかったことがあげられた。今年度は、行事の意味、見直しを行いながら、子どもの最善の利益を意識した行事、園外活動の実施を行いたい。(1)でもあげたように行事、園外活動においてもPDC Aが活かされていない場面が見られるので、意識していきたい。また片付け、反省まで意識できていない時も見られるので、次へつなげるように考えていきたい。

(3) 園内外の修繕（園庭、園内整備、エアコンの改修など）

昨年度、行えなかった園庭の工事（駐車場側へ崩れているため早急の対応が必要）、園内整備（ランチルーム、3歳児保育室の床の張り替え）、エアコンの改修（2歳児保育室、ランチルーム、3歳児保育室）、給食器具、食器類の見直しを図っていきたい。

(4) 更なる姉妹園の交流、地域との交流

今年度は厨房会議にごしよの保育園の先生方に加わってもらい、とても勉強になった。今年度も厨房職員に関わらず、看護師、保育士も普段の様子を参観させてもらいながら交流を深めていきたい。

地域との交流では、秋田のプロスポーツの方々（秋田ブラウブリッツ、秋田ノーザンハピネッツ、秋田ノーザンプレッツ、AAC など）に指導して頂ける機会を多々持ちながら、体を動かすことを嫌がらない子どもを育てていきたい。今年度も川尻本町の方々から竿燈を引き続き指導して頂けるとのことだったので、年長児のみならず、職員も地域の方々との交流を楽しみながら交流できるようにしていきたい。茶道教室の方々との交流も深めていきたい。

3. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

備品名	時期（予定）	予算（概算）	理由
ランチルーム・3歳児保育室床張り替え	4月～5月	1,714,424円	ランチルームは0歳児のような床、3歳児室は耐久性のある床に
中庭屋根整備	5月～6月	2,410,560円	中庭で遊ぶと夏場などが暑いのでスライド式屋根を検討
2歳児・3歳児・厨房エアコン取り換え	4月	3,939,840円	エアコンが古いので交換の時期に来ているため

(2) 備品購入計画

備品名	時期	予算（概算）	理由
給食用食器類・調理器具交換	4月中旬	600,000円	食器類も不揃いで古いため交換の時期

4. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門（新指針より引用）

0歳児：健やかに伸び伸びと育つ。身近な人と気持ちが通じ合う。身近なものに関わり、感性が育つ。

1歳児、2歳児：健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。他の人々と親しみ、支え合って生活するために自立心を育て、人と関わる力を養う。周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

(2) 幼児保育部門（新指針より引用）

3歳児、4歳児、5歳児：健康な体と心を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

(3) 給食部門

- ・安全、安心、おいしい給食の提供を心がける。
- ・職員間で話し合いながら、厨房職員が中心となって、食育年間計画を作成し、実践していく。
- ・年度末に子どもの嗜好調査を実施し、今後の改善に努める。

(4) 子育て支援部門

- ・5月より園開放を行い、地域の方々にも参加してもらえるように工夫をする。
- ・個人面談を年2回行い、子どもの様子や園の様子などを伝え合い、これからの保育に活かしていく。また保育方針なども伝える場としていくことで園と家庭との連携を図っていく。また経験の浅い職員でも保護者との相談に戸惑うことのないようにロールプレイなどの実践を交えながら進めていく。
- ・通園している保護者が安心できるように今日の出来事を掲示、写真などを使って分かりやすく伝えるように工夫を重ねていく。

(5) 地域との交流

- ・川尻本町との連携を目指し、竿燈練習を行う。職員間も本町の練習に加わるなどし、より積極的な交流を目指す。
- ・ごしょの保育園、山王幼稚園との交流を持ち、同世代の子ども達との出会いを楽しみながら交流する機会をもつ。
- ・地域にあるプロスポーツの方々と触れ合いながら楽しんで交流する。ふれあいを通して体を動かす楽しさを知る。
- ・中央子育て支援ネットワーク連絡会に参加し。地域の子育てに関わる市民団体や

関係者の方々と情報交換をすることで地域のニーズを把握していく。

- ・川尻小学校との連携を図り、積極的な交流を目指す。

5. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	29 年度継続児	30 年度新入児	合計
0 歳児	1	9	10
1 歳児	13	0	13
2 歳児	10	2	12
3 歳児	11	1	12
4 歳児	11	0	11
5 歳児	13	0	13
合計	59	12	71

(2) 職員数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	10	2			1	14
嘱託職員		4					4
パート職員		4		1	1	1	7

6. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
5	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
	親子遠足	親子で遠足を楽しみます。
6	内科健診	嘱託医が園児の健康診断を行います。
	歯科健診	嘱託歯科医が園児の歯科健診を行います。
	竿燈練習	川尻本町さんと竿燈練習をします。(年長児のみ)
7	清掃日	保護者と一緒に園内外の清掃をします。
	竿燈練習	卒園児と一緒に竿燈練習をします。
8	七夕集会	みんなで七夕を楽しみます。
	竿燈壮行会	竿燈に参加する年長児をみんなでお祝いします。
	竿燈参加	竿燈に年長児、卒園児が参加します。
	個人面談	お家の方と面談をします。(全園児)
9	お泊り会	年長児が先生とお泊り会に参加します。
	運動会	子ども達の普段の様子をお家の方に見て頂きます。

10	自由保育参観・参加週間	子ども達の普段の様子をお家の方に見て頂きます。
	内科健診	嘱託医が園児の健康診断をします。
11	講話会	講師をお招きしてお話しを伺います。
12	お楽しみ発表会	子ども達の普段の様子をお家の方に見てもらいます。
	個人面談	お家の方と面談します。(希望者のみ)
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しみます。
1	新年を祝う会	新年をみんなで祝いします。
2	豆まき会	みんなで豆まきをします。
	保護者会総会・懇談会	総会后、クラス懇談をします。
3	ひな祭り会	みんなでひなまつりをお祝いします。
	卒園式	年長児の卒園をお祝いします。
	お別れ遠足	卒園児がみんなで遠足を楽しみます。

- ・毎月、全園児が集まって誕生会をします。保護者も参加し、一緒にお祝いします。誕生会后、参観、給食試食会も予定しています。
- ・毎月、避難訓練をして災害に備えます。(不審者訓練、津波訓練も含む)
- ・園バスを使ってバスでのお出かけを楽しみます。
- ・水泳教室、サッカー教室、ラクビー教室、バスケット教室、茶道教室などに参加し、地域の方々とのふれあいを楽しめます。

8. 各種会議(職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等)

会議名	頻度
職員会	月2回
クラス会	月2回
厨房会議	月1回
申し送り	週1回
ごしょの保育園との交流会(主任会、栄養士会、看護師会など)	不定期開催
園内研究反省会	不定期開催

9. 研修計画

月	研修名	月	研修名
4	園内研究 今年度の園の目指すべき方針	10	園内研修 参観など
	の解説、研究方法、反省の仕方について		公開保育
	園内研修 保護者対応、連絡の取り方について		
5	園内研修 ロールプレイ	11	公開保育
6	園内研修 ロールプレイ	12	
	公開保育		
7	公開保育	1	園内研究 今年度の振り返り、次年度の課題
8	公開保育	2	
	園内研修 ロールプレイ		
9	公開保育	3	

外部研修

- ・ごしよの保育園と合同勉強会を実施予定。(汐見先生からの指導を受ける)
- ・ごしよの保育園、山王幼稚園への参観(行事以外の日に目的をもって参観、参加する。)
- ・外傷時、緊急時の対応についての勉強会を行う。

以上

平成 30 年度 阿久和保育園事業計画

1. 事業内容

保育事業 一時預かり事業 延長保育事業 地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

保育園の状況

- ・一時保育や子育て支援における地域の方の利用者数が増え、地域との関わりがより密になってきた。自治会、地域関連施設、幼保小との連携も取れて安定している。
- ・保育内容、行事への参加の仕方などを見直し、子ども合った保育を進めるようになってきたことで、乳児（0歳児、1歳児、2歳児）の保育をより丁寧に行なえるようになってきた。ただ、保育環境面における工夫ができていない為、次年度の課題としたい。
- ・民間移管事業が決定し、職員の動き等が大きくあり、職員の中での動揺は避けられない為、丁寧に情報を周知し全職員で取り組めるように行っている。
- ・設備環境においては、今年度の課題としての工事をほぼ、完了することができた。特に0・1歳児室内の部屋とトイレの仕切り取り付けができ、感染拡大を防ぐ手立ての1つとなったと思う。
- ・パソコン導入と一部無線ランの設置で、事務の効率化を図ることが出来つつある。

基本方針

- ・横浜市の中ではまだ、自然が残っている環境の中、四季を通じていろいろな体験をしながら、また、遊びを通して仲間との関係を育み、情緒の安定と人への信頼感が育つよう、一人一人の発達過程や心身の状態に応じた適切な援助及び環境構成を行っていく。
- ・園目標の「自然の中で、たくましく育ちあう子ども」を基本に瀬谷区の状況を踏まえ支援の必要な園児・保護者を丁寧に対応し保育を進めて行く。

3. 重点施策

(1) クラス環境の充実

- * 各クラス、乳幼児の中で話し合い、子ども達の遊びが広がり、展開できるように四季を通じての環境設定を工夫する。
 - ・子どもが遊びたいおもちゃや材料など、自分で選べとれるような環境
 - ・子どもの興味関心や発達の時期にふさわしい種類の物が置かれている環境
 - ・コーナーなど場を区切って、子どもがホッとできるような場作り
 - ・ままごと、制作、絵本、生活の場など、必要な場が用意されている環境

(2) 職員の資質・専門性の向上

* 専門性を高めるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努め、自己研鑽する。

- ・改定保育所保育指針の理解と実践 園内研修、園外研修等を行い、並行して日々の保育を進めながら取り組むことで、共通理解をしていく。
- ・処遇改善におけるキャリアアップ研修を計画的に取り込む。専門リーダー、職務分野別リーダー、サブリーダーの選任と役割を明確にし、取り組めるようにする。

(3) 民間移管事業の取り組み

* 阿久和保育園の職員が中心となり、民間移管事業を進め全職員の協力のもと移管の引継ぎ共同保育を成功させる。

- ・職員配置、引き継ぎ共同保育の取り組みなどを、全職員で周知し協力体制を取り行っていく
- ・民間移管により、園長交代、職員の異動等がある為、体制を整え1年間安定した職員体制を考え進めて行く

(4) 地域交流（子育て支援）事業の取り組み

* 専門リーダーを加え、担当保育士と一緒に年間の取り組みを行う。

- ・子育て支援事業の進め方、役割分担、各交流の担当、報告資料作成（ホームページにアップする・あくわっこ作成、チラシ作成）等を専門リーダーと一緒に進めて行く

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備（50万円以上を対象）

備品名	時期（予定）	予算（概算）	理由
園舎内のWIFI構築	6月	500,000円	園内無線化により、保育室他でも作業ができ人事生産性をあげる
WIFI対応のパソコン導入	6月	600,000円	持ち運びができ、保育士や栄養士等の業務改善（無線ランの構築）
2階ホールカーテンレール設置	5月～6月	100,000円	2階ホールの壁側おもちゃの目隠しをするため

備品購入計画

備品名	時期	予算（概算）	理由
冷凍冷蔵庫	5月～6月	500,000円	食品保管庫に冷房が無い為、夏の暑い時期、食品の保存が不安。 厨房内の冷凍庫・冷蔵庫が一杯になり保存食品が入らなくなってきた。

空気清浄機	7月～10月	600,000円	保育室内の空気清浄機の交換(今年度半分、次年度半分と新機種との交換)
ベビーセンサー	1月～2月	600,000円	眠っている乳児の呼吸や動きをモニタリングし、異常時を早めを知る

5. 部門別保育年度達成目標

基本的に改訂保育指針に準じた内容で保育目標を設定し取り組んでいく。

(1) 乳児保育部

- 0歳児：一人一人のリズムを大切に、保育者との継続的な信頼関係をつくり、甘えや欲求を満たせるよう情緒の安定を図る。行事参加の仕方を考え、クラス保育の充実を図る。
玩具と部屋の使い方の見直しをして、子どもたちが過ごしやすい環境作りをする。
- 1歳児：一人一人の発達に配慮しながら、安心できる保育士との関係のもとで日々の生活を通して自分でしようとするようになる。いろいろなことに対する興味関心が広がるようにしていく。
玩具と部屋の使い方の見直しをして、子どもたちが過ごしやすい環境作りをする。行事参加の見直しを行い、クラス保育の充実を図る。
- 2歳児：安心できる保育士との関係のもとで、個々の意欲や気持ちを受け止めてもらい簡単な身の回りの活動を自分でしようとするようにしていく。
玩具の見直しをして、こども達が遊び込めるものを提供できるような環境作りをする。行事参加の見直しを行い、クラス保育の充実を図る。

(2) 幼児保育部門

- 3歳児：今までの保育にとらわれず、子ども達に対するアプローチの仕方や対応言葉がけを考え、幼児期の終わりまでに育てほしい具体的な姿(10の姿)を視野に入れ保育計画を立て取り組む。
遊具環境、自然環境、道具環境、物理環境、人的環境をどのように整え子ども達に提供していくかを考え取り組む。
- 4歳児：今までの保育にとらわれず、子ども達に対するアプローチの仕方や対応言葉がけを考え、幼児期の終わりまでに育てほしい具体的な姿(10の姿)を視野に入れ保育計画を立て取り組む。
遊具環境、自然環境、道具環境、物理環境、人的環境をどのように整え子ども達に提供していくかを考え取り組む。

5 歳児： 今までの保育にとらわれず、子ども達に対してのアプローチの仕方や対応言葉がけを考え、幼児期の終わりまでに育てほしい具体的な姿(10の姿)を視野に入れ保育計画、アプローチ計画を立て取り組む。

遊具環境、自然環境、道具環境、物理環境、人的環境をどのように整え子ども達に提供していくかを考え取り組む。

(3) 給食部門

- アレルギー対応の実施
- 年間食育計画に基づいた取組の実施(子育て支援活動含む)
- 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
- 献立内容の見直し、改善
- 職員の食育指導
- 調理員ミーティングの定期的な開催(横浜姉妹園との調理員会議も含む)

(4) 地域交流、子育て支援事業

地域親子活動の提供を維持し参加者の増加を図る

多目的ホールの環境改善

地域のおもちゃの補充、充実。お茶などの飲料水の提供

育児講座、交流保育の充実

竹の子掘りじゃが芋掘りさつま芋掘り、親子体操の定着

地域子育て支援者との交流

育児講座、幼児体操の開催

子育て関連施設との連携

阿久和ケアプラザ(65歳からの健康作り講座)

長屋門(おやじの会の方が行う「昔遊びの会」)

地域老人ホームとの交流

地域小学校、保育園、幼稚園との交流

「こども食堂」協賛(お米の提供と手伝い)

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成30年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	29年度継続児	30年度新入児	合計
0歳児	0	14	14
1歳児	13	3	16
2歳児	15	1	16
3歳児	12	4	16
4歳児	15	1	16
5歳児	16	0	16
合計	71	23	94

(2) 職員数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	2	0	0	0	18
嘱託職員	0	2	0	0	1	0	3
パート職員	0	9	0	1	1	0	11

7. 行事計画

月	名称	内容
4	入園進級の日	進級、入園をお祝いする。
	0歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	タケノコ掘り	地域の方の山にて筍堀を行い収穫を喜ぶ。
	1・2歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
5	こどもの日集会	各自制作した鯉のぼりを持参し成長を祝い喜ぶ。
	桜餅作り昔遊びの会	桜餅作りとおやじの会の方々と伝統遊びを体験する。
	3・4・5歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	ランランデー	瀬谷区内の保育園(5歳児)との交流を図る。
	園児健康診断	嘱託医による園児の内科検診を行う。
	お弁当遠足	お弁当を持参し幼児クラスが公園に散歩に行く
6	歯科健診	嘱託医による園児の歯科健診を行う。
	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
	避難訓練・防災訓練	避難訓練の後、消防署による防災訓練が開かれ参加。
	交通安全指導	横浜市職員による映画や着ぐるみでの交通安全指導
	ジャガイモ掘り	地域の方の畑にてジャガイモ堀を行い収穫を喜ぶ。
7	プール開き	プール遊びを安全に楽しく行うための約束の確認
	七夕集会	七夕の由来を知り笹に短冊や飾りを付け集会を楽しむ
	体育指導	色々な動きをしてみよう。跳び箱の動作の確認。
	夏祭り	父母の会主催で和太鼓、ソーラン節を楽しむ
	科学遊び	身近な素材を用いて科学遊び玩具を作り体験する。
8	納涼祭り	夏ならではの遊びお化け屋敷や相撲などを楽しむ
	プールじまい	約束を守って楽しく遊べたか確認、プールを清める。
9	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
10	運動会	練習してきた運動遊びや演技を披露して見て頂く
	さつま芋掘り	地域の畑にてさつま芋掘りを行う。
	お弁当遠足	2～5歳児お弁当を持参し公園遊びを楽しむ。
	ヤマト運輸安全教室	交通ルールを教えて頂き、乗車体験を楽しむ。
11	秋祭り	収穫した自然物を使って遊びを楽しむ。
12	発表会	日々のごっこ遊びや歌などを保護者の前で発表する。
	マジックショー	手品を楽しむ。

	お楽しみ会	職員の出し物サンタ登場でクリスマスを楽しむ
	餅つき	餅つきを体験し新年を迎える準備をする。
1	子ども新年会	お正月遊びを体験し新年の集まりを楽しむ。
	影絵	影絵の不思議な世界を見て年長児は参加し楽しむ
2	節分	地域のお友達と一緒に節分を楽しむ。
	5歳児懇談会	1年のクラスの様子と共に就学について話す。
	0・1・2・3・4歳児懇談会	1年のクラスの様子を話すと共に進級に向けて話す。
	人形劇	人形劇を見て楽しむ。
3	お別れ遠足	5歳児と園外保育を楽しみ思いで作りをする。
	ひな祭り	ひな祭りの由来を聞き、女の子の節句を祝う
	さくらお別れバス遠足	5歳児が園バスで、最後のお弁当遠足を楽しむ。
	お別れ会	年長児の卒園をみんなで喜び合い祝う。
	卒園式	年長児の卒園を喜び祝う。

毎月行う行事 ・誕生会 ・避難訓練 ・身体測定

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月/1回
カリキュラム会議	月/1回
乳児会議	月/1回から3回
幼児会議	月/1回から3回
非常勤会議	月/1回
調理員会議	年間/3回程度

9. 研修計画

月	研修名	月	研修名
4	園内研修（改定保育所保育指針の確認）	10	横浜市こども青少年局主催研修
	社会福祉協議会園長合同研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	幼保小連携会議		横浜女子短期大学主催研修
	神奈川県キャリアアップ研修		幼保小第2回ブロック別研修会
5	幼保小第1回ブロック別研修会	11	横浜市こども青少年局主催研修
	神奈川県キャリアアップ研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	衛生管理講習会		横浜女子短期大学主催研修
			神奈川県キャリアアップ研修
6	横浜市こども青少年局主催研修	12	横浜市こども青少年局主催研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修

	幼保小全体研修		横浜女子短期大学主催研修
	横浜女子短期大学主催研修		社会福祉協議会保育福祉部会研修
	神奈川県キャリアアップ研修		
7	横浜市こども青少年局主催研修	1	横浜市こども青少年局主催研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	横浜女子短期大学主催研修		横浜女子短期大学主催研修
	神奈川県キャリアアップ研修		神奈川県キャリアアップ研修
8	西部地域療育センター研修会	2	瀬谷区ネットワーク研修
	横浜女子短期大学主催研修		ブロック別研修会
			神奈川県キャリアアップ研修
9	横浜市こども青少年局主催研修	3	神奈川県キャリアアップ研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		幼保小連携会議
	横浜女子短期大学主催研修		
	幼保小連携会議		

* キャリアアップ研修として、ポピンズ・横浜市の研修が随時入る

* 年間通して「改定保育所保育指針」の園内研修を行う

以上

平成 30 年度 西柴保育園事業計画

1. 事業内容

- ・ 保育所の経営
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

横浜市からの民間移管から 8 年目を迎える。園舎の築年数が 47 年を経過し、老朽化が進んでいること、また、そのことによって修繕工事が増えつつあることから、仮園舎の建設、本園舎の建替えを本格的に進めている。

定員（60 名）割れは依然として続いているが、園舎建替えが現実化され、保育室の環境整備と定員構成（定員変更）が整えば、定員割れの問題は解消方向に向うと思われる。

今年度は園長の交代や複数の新入職員でのスタートなるが、職員間での十分な話し合いや園内外の研修への参加を通し、職員体制の充実、保育の質の向上に努める。

○平成 30 年度園舎建替えスケジュール

平成 30 年 4 月～5 月上旬まで（1 ヶ月間程度）	： 既存園舎
平成 30 年 5 月上旬～平成 31 年 1 月末頃まで	： 仮設園舎
平成 31 年 2 月上旬～	： 新園舎

基本方針

地域に根ざした保育運営を志し、地域交流、育児支援を積極的に展開していく。自然豊かな環境と公的な施設・公園等を活用することによって、子ども自らが自発的に活動し、周囲の子どもや大人と関わっていくことが出来る様々な経験を積んでいかれるように保育の計画、実践に努める。

3. 重点施策

（1）人財育成の強化（職員体制を充実、安定させ、保育の質の向上に取り組む）

キャリアアップ研修への参加

専門リーダー、職務分野別リーダーが対象となる研修への受講を積極的に促し、保育現場において専門的な対応が求められている分野やリーダー的職員の養成に努める。

メンター制度の継続（平成 29 年度の反省・課題を活かす）

・メンター制度の場合、1対1の関係となるが、「経験豊富な保育士＝有能なメンター」とは限らないので、メンターの育成が急務となる。また、メンティーは横の繋がりが強いため、同期同士の話し合いの場を定期的に設け、園長、主任が不安や悩みの共有に努める。

新入保育士研修（担当者：主任・園長）

新年度（4月）から3ヶ月間程度、午後の時間を活用し、「理念・方針」「子どもの・大人の人権」「マニュアルの読み合わせ」「支援児対応」「保護者対応」等の勉強会を開催する。

園内研修の充実

- ・アセスメント研修：“遊びの中の学びを捉える”をテーマに「フォトカンファレンス」、「ドキュメンテーション作り」などを通し、子どもの育ちについて職員間で語り合える機会を積極的に設ける。
- ・新保育所保育指針研修：『保育所保育指針ハンドブック』を参考図書とし、職員間での共通理解に努める。

横浜の姉妹園との交流

横浜の姉妹園と調整したうえで、各種会議への参加、短期間の職員交換、小さな園行事への参観等、職員の交流を積極的に行なっていく。

（2）園舎（仮園舎・新園舎）整備の推移

子どもたちの安全と、保育活動の充実を見据え、また、保護者、地域住民の方々からの意見・要望を精査しながら、仮園舎建設、本園舎の建替えを進めていく。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備（50万円以上を対象）

現状は予定していません。

(2) 備品購入計画（一品または纏めて50万円以上を対象）

備品名	時期	予算（概算）	理由
組立て式プール (リップルマリンRM-3)	7月	100万	仮設園舎及び、新園舎でのプール活動のため
新園舎必要備品	1月	154万	園舎建替えに伴う備品

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

- 1 歳児 ・ 園生活に慣れ、一日の保育の流れに沿って食事や睡眠・排泄などの生活の活動を保育者と一緒にする。
- ・ 保育者とかがわる中で言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。
 - ・ 保育者との信頼関係をもとに、友だちへの関心を持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 2 歳児 ・ 担当保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
- ・ 友だちとの関わりができ、一緒に遊んだり、行動したり、つもり遊びを楽しんだりする。
 - ・ 運動用具を使った遊びやリズム遊びを通して身のこなし方が分かっていく。

(2) 幼児保育部門

- 3 歳児 ・ 感じたことや思ったことを友だちや保育者に話し、気持ちを共感してもらって嬉しさを味わう。また、相手の話に興味を持ち、聞こうとする気持ちを持つ。
- ・ 全身を使った遊びや指先を使った遊びの楽しさを知り、友だちと一緒に遊ぼうとする。
 - ・ 園生活での過ごし方が分かり、自分から進んで身の回りの支度や始末をしようとする。
- 4 歳児 ・ 基本的な生活習慣やマナーを身に付け、自分のできることの範囲を広げ、意欲を持って楽しく生活する。
- ・ 遊びなどの活動を通し、友だちと共通の目的を持ち、集団生活を楽しむ。
 - ・ 自然事象や環境に興味・関心を持ち、自分から関わり様々な経験の中で自己表現する力を身に付ける。
- 5 歳児 ・ 加配認定の児が2～3名在籍予定なので、集団生活の中で個別対応の充実を図る。
- ・ 意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう。
 - ・ クラスの友だちとの関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり、役割を分担したりしながら目的を成し遂げる喜びを味わう。
 - ・ 探究心が深まり、試したり、工夫したりして遊びを楽しむ。
 - ・ さまざまな表現を楽しみ、意欲的、創造的に遊びや行事に取り組む。

(3) 給食部門

- ・ 年間食育計画に基づいた取組みの実施
- ・ アレルギー対応の実施（職員間の声かけ、連携、アレルギー面談）
- ・ 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
- ・ 食の安全に対する取組み

- ・家庭への働きかけ（毎月の献立配布、4期に分けての食育だより、今日の献立の写真紹介、食材産地紹介、おすすめレシピ紹介、給食参加の呼びかけ）
- ・育児講座において地域未就園児家庭に離乳食、簡単レシピなどの食育活動の充実

(4) 地域交流・育児支援部門

- ・保育所（地域の三園との交流、キラキラかなざわっこスポーツフェスティバル）
- ・小学校（体験給食、学習フェスティバル）
- ・中学校（職場体験、総合学習、職場インタビュー）
- ・地域（公園愛護会との焼き芋会・花壇整備、ハッピーデイコンサート、正月あそび、西柴夕涼み会（夏祭り）参加、ふれあい生き生きサロン）
- ・育児講座（年4回 町内会館、金沢中部地区社会福祉協議会「親子の遊び場」と共催）

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成30年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	29年度継続児	30年度新入児	合計
0歳児			
1歳児	0	11	11
2歳児	9	2	11
3歳児	11	0	11
4歳児	11	0	11
5歳児	14	0	14
合計	45	13	58

(2) 職員数(平成29年4月1日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	その他	合計
正職員	1	8	2		1		12
嘱託職員							0
パート職員		9		1		4	14
計	1	17	2	1	1	4	26

7. 行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う会	新入園児、進級児童を祝う
	避難訓練	午前中の時間帯に地震を想定した避難訓練を行う
	4月誕生会・茶道教室	4月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
	5歳児 すみれ組 懇談会	クラス担任と保護者との情報交換を行う
5	こどもの日の会	日本の伝統行事の意味や大切さを伝える

	春の健康診断	かなこどもクリニックの川名先生による診察
	避難訓練・茶道教室	火災を想定した避難訓練・年間を通して茶道を学ぶ
	5月誕生会・茶道教室	5月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
6	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	6月誕生会	6月生まれの児童の誕生を祝う
	プール開き	安全祈願をし、子どもたちとプール遊びの約束をする
7	七夕の会	七夕の由来を知り、楽しんで行事に参加する
	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	年長児 三園交流（第一回）	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園の三園交流
	7月誕生会	7月生まれの児童の誕生を祝う
	交通安全教室	交通安全指導に参加し、交通ルールを学ぶ
8	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	避難訓練	長時間保育中の火災を想定した訓練
	8月誕生会	8月生まれの児童の誕生を祝う
	おまつりごっこ	幼児の各クラスがお店を出しお祭りの雰囲気を楽しむ
9	防災訓練	警戒宣言発令を想定した訓練
	プール終い	安全に活動を終わられることを感謝し、個々の上達を称える
	歯科健診	かなざわファミリー歯科の黄先生による診察
	9月誕生会	9月生まれの児童の誕生を祝う
10	運動会	運動遊びの成果を参観者の前で披露し、皆で楽しむ
	運動会ごっこ	年中が主体となり、地域の方と一緒にごっこ遊びを楽しむ
	避難訓練	二次避難として、西柴小学校まで避難する
	10月誕生会・茶道教室	10月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
11	公園愛護会との焼き芋会	隣接した第一公園で焼き芋を行い、地域交流を行う
	三園交流	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会
	消防署立ち合いの避難訓練	通報訓練、消火器訓練、煙体験、防火服の着用体験
	11月誕生会・茶道教室	11月生まれの児童の誕生を祝う・茶道教室
12	お楽しみ会	日頃の表現活動を保護者や地域の方の前で発表する
	ハッピーデー	地域のハーモニカグループの演奏を聴き交流をもつ
	12月誕生会・茶道教室	12月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
1	お正月遊びの会	祖父母や地域の方と一緒に正月遊びを行い楽しむ
	年長すみれ組 懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
2	節分の会・茶道教室	節分の由来や豆まきについて話を聞き、豆まきを行う
	たんぼぼ・ゆり・ちゅうりっぶ懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
3	ひなまつりの会	ひなまつりの会を皆でお祝いする
	お別れ遠足（卒園児のみ）	保育園の思い出で作りとして遠足を楽しむ
	入園説明会	入園する保護者に説明、情報交換を行う
	卒園式	年長児の卒園を皆で祝う

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	毎月
カリキュラム会議	毎月
乳児クラス会議	毎月
幼児クラス会議	毎月

9. 研修計画

○園外研修

- ・こども青少年局 保育・教育人材課、金沢区保健福祉センター、全保協等が主催している研修に参加し、自己研鑽を行う。
- ・キャリアアップ研修への参加（任命対象者）

○園内研修

- ・横浜市リズム研修の情報共有
- ・アセスメント研修、新保育所保育指針研修、保育士のメンタルヘルス研修、人権擁護研修、虐待防止研修等

月	研修名	月	研修名
4	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	10	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修		・園内研修
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
5	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	11	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修		・園内研修
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
6	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	12	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修		・園内研修
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
7	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	1	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修		・園内研修
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
8	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	2	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修		・園内研修
			・横浜市リズム研修
9	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	3	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修		・園内研修
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修

以上

平成 30 年度 阿久和キッズ事業計画

1. 事業内容

- ・ 保育事業 ・ 延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

29 年度は 4 月当初から定員に達してスタートができた。しかしながら、職員体制が厳しい時期もあり、その時期は職員同士でフォローし合い、子どもたちに最善の保育を提供するよう試みた。その結果、絆が深まり保育についてお互い話し合う良い機会となった。9 月から新しい職員が入り、落ち着きを取り戻して保育運営ができるようになってきているので、30 年度は各クラス 2 人担任、フリー保育士 2 名での体制を整えていくようにしたい。この体制が崩れないように、職員同士のコミュニケーションをしっかりと取っていききたい。また、手厚い保育は、保護者にとって安心感につながっていくので、園の強みにしていきたい。

保育設備としてゲートを購入したことは、各年齢別のスペースがしっかり確保され、避難経路が増えて昨年度より安心安全な保育を提供することができた。また、電子ピアノの購入により、阿久和キッズ独自のリズムができるようになったこと、季節の歌等もピアノに合わせて楽しめるようになり、色々な場面で活用できている。

地域交流としては、阿久和保育園との連携でたくさんの行事に参加することができ、自分の園ではできないことを多く経験できて保護者の方にも喜ばれている。引き続き連携を密にしていきたいと思っている。卒園後の受け皿としての「認定こども園はらのご原幼稚園」、「三ツ境幼稚園」とはプール開放や移動動物園、発表会、観劇会等に参加することで保育を充実させることができ、更に強いつながりを持つことができるようになってきている。連携枠で入園できることは保護者にとっても安心できるので、これからも連携を取りながら交流していくようにしていきたい。

< 基本方針 >

- ・ 園目標である「ふれあいの中で心豊かに育ちあう子どもたち」を心に刻み、一人ひとりの発達段階を踏まえて丁寧な保育に取り組んでいく。また、保護者に対しては常に気持ちに寄り添い安心して利用していただけるように対応し、保育運営においても繰り返し伝えながら理解と協力を得られるよう努めていく。
- ・ 限られた敷地・保育環境ではあるが、日々充実した保育が行えるよう職員間で話し合い実践していく。今後も姉妹園や連携園と連絡を密に取り、子ども達がより自然に触れ、あそびを通して心身の発達や人への信頼関係・関わり方などを習得していけるよう援助、環境設定を行っていく。

3. 重点施策

(1) 人財育成と職員体制の見直し

29年度は、大幅に職員が入れ替わり、引き続き、職員体制の見直しを行っていく。新しい職員の育成を行いつつ、コミュニケーションの取り方(人の気持ちの理解を中心に)を学び、働きやすい職場を確立していきたい。また、リーダー職の配置で職員間との連携がスムーズになり、新たに非常勤会議を設けることにより全体で共通理解をすることができるようになってきている。園長との情報共有を含めて、一人ひとりが自分のため、仲間のために生き生きと活動できるように努め、最終的には子どもたちのためになるよう保育の質の向上を目指していく。

(2) 専門リーダー・職務分野別リーダーの意識と職員間の信頼関係の構築

【専門リーダー】【職務別分野リーダー】の役職に就いた職員は、【専門リーダー】【職務別分野リーダー】であることを意識し、積極的に研修に参加してスキルアップを目指す。そして保育所保育指針の改定ポイントを職員全員で周知できるよう、園内研修計画を行っていく。職員間の信頼関係においては、子どもの最善の利益、保護者との関係にまで及ぶことなので、常に情報を共有、どんなことでも相談、話し合いができるような環境を整えて、信頼関係を構築していく。

(3) 地域交流の取り組み

阿久和保育園との交流を深め、職員同士の交流も行っていくようにしたい。長屋門公園や連携園とも、どのような連携が取れて保育を行えるのかを考え、その時に必要な配慮や準備などをしっかりと記録して、積極的に提案していくようにして交流を深めていく。地域の方々には丁寧な挨拶を心掛け、迷惑施設にならないよう留意していくようにする。

(4) 避難訓練の強化

避難訓練のあり方や災害時の対応の仕方等を再度検討して、職員全員での共通理解に努めていく。昨年度は子どもたちの避難靴・ヘルメットを準備できたが、次は大人用の物も考えていきたい。(一緒に上履きを準備等)

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
クッションマット	年度初め	200,000円	0歳児、1歳児スペースの危険防止のため
調理用ガステーブル	年度初め	50,000円	器具の劣化のため安全を考慮して
調理室整備	年度初め	50,000円	スペースを利用して収納用吊戸棚の設置

(2) 備品購入計画

備品名	時期	予算（概算）	理由
玩具 絵本	年度初め	50,000 円	劣化や破損のため

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児

- * 保育者の愛情のもと、一人ひとりの欲求が適切に満たされ、快適な環境に心地よさを感じながら健やかにのびのびと育つ。
- * 安心できる環境の中で、身近な人と一緒に過ごす喜びを感じ、表情やしぐさ、声を出して保育者と気持ちを通わせようとする。
- * 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。（愛着関係を築く）

1 歳児

- * 保育者の愛情豊かな受容のもとで、安心感をもって生活をし、必要な習慣に気付く、自分でやってみようとする。
- * 周囲の子どもへの興味や関心が高まり、関わりを持とうとする。また、身近な人と関わる心地よさを感じる。（愛着関係を築く）
- * 身近な環境の様々なものに興味や関心をもって親しみ触れ合い、自分の思いを主張しながら欲求を満たしていく。

2 歳児

- * 保育者に見守られながら基本的な生活習慣を身に付け、自分で行うことの充実感や達成感を味わう。
- * 保育者や友だちと関わって遊ぶ中で自分以外の事物に興味や関心を持ち、見る、聞く、触れたりして楽しむ。
- * 絵本や物語等に親しみ、言葉のやりとりを通して身近な人と気持ちを通わせる
- * 自分の思いを言葉にして相手に伝えようとする。

(2) 給食部門：アレルギー対応は誤食誤飲を起こさないよう十分気をつけていく。

また、家庭との連携を図りながら献立を検討し対応していく。
丁寧できめ細やかな安心安全な給食を提供できるように努める。
一人一人の状況に合わせ離乳食を進めていく。
クッキングを計画し、子どもたちの食に関する興味関心を育てる。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	29 年度継続児	30 年度新入児	合計
0 歳児	0	5	5
1 歳児	5	2	7
2 歳児	7	0	7
3 歳児			
4 歳児			
5 歳児			
合計	12	7	19

(2) 職員数(平成 30 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	5	0	0	0	0	6
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	3	1	1	0	0	5

7. 行事計画

月	名称	内容
4	各クラス懇談会	担任が子ども達の様子や 1 年間の抱負などを伝える その他、保護者の自己紹介など
5	子どもの日集会	担当保育士が「子どもの日」の由来などを話し、子ども日にちなんだ物を見て楽しむ
	内科検診	嘱託の先生による検診
6	歯科健診	嘱託の先生による健診
	ごっこ遊び	阿久和保育園の地域交流
	プール開き	プール遊びの際の約束事を確認
7	夏まつり	阿久和保育園の行事に参加（希望者）
	プール開放	三ツ境幼稚園の地域開放に参加
	七夕集会	七夕についての話を聞き、みんなで願い事をする
8	すいか割り	夏の遊びの一つとして体験を楽しむ
	プールじまい	プール遊びが終わりになることを伝え、みんなで楽しく遊べたことを振り返る
	プール開放	三ツ境幼稚園の地域開放に参加
9	引き取り訓練	災害時の引き取り方の保護者に対する訓練

10	運動会	阿久和保育園の運動会を見学 地域のかげっこに親子で参加 保護者競技に参加
	お弁当遠足	お弁当を持って、秋の自然に触れて楽しむ
	さつまいも掘り	阿久和保育園の地域交流 さつまいも掘りを楽しむ
	ハロウィン	阿久和保育園の地域交流
	交通安全教室	交通安全について興味を持つ
11	親子で遊ぼう会	親子で触れ合い遊びやダンス、制作等一緒に楽しむ
	内科検診	嘱託の先生による検診
	歯科健診	嘱託の先生による健診
	移動動物園	認定こども園はらのこ原幼稚園の地域交流 小動物に興味を持ち、ふれあいを楽しむ
12	発表会見学	三ツ境幼稚園の発表会を楽しむ(2歳児)
	お楽しみ会	阿久和保育園の地域交流に参加 サンタさんからプレゼントをもらいクリスマスを楽しむ
	おもちつき	阿久和保育園の地域交流
1	子ども新年会	担当保育士がお正月遊びなどを紹介 お正月というものを話し、1年間みんなで楽しく過ごしていけるよう伝える
	影絵	阿久和保育園の地域交流
2	豆まき	豆まきをし、無病息災を願う。
	各クラス懇談会	1年間の成長や進級・卒園に向けての話をする
	人形劇	阿久和保育園の地域交流 人形劇を楽しむ
3	ひな祭り	ひな人形を作り担当保育士がひな祭りについて話す
	お別れ遠足	2歳児と一緒に弁当を持って戸外遊びを楽しむ
	卒園式	卒園をみんなでお祝いする

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
アレルギー会議	月1回 月末
カリキュラム会議	月1回
職員会議	月1回
ミーティング	必要に応じて

9. 研修計画

月	研修名	月	研修名
4	瀬谷区施設長会	10	横浜市こども青少年局主催研修
			瀬谷区こども家庭支援課主催研修
			瀬谷区施設長会
5	障害児研修	11	横浜市こども青少年局主催研修
	専門リーダー研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	衛生管理講習会		専門リーダー研修
	防災研修		横浜女子短期大学主催研修
6	横浜市こども青少年局主催研修	12	横浜市こども青少年局主催研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	専門リーダー研修		専門リーダー研修
7	横浜市こども青少年局主催研修	1	横浜市こども青少年局主催研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	横浜女子短期大学主催研修		横浜女子短期大学主催研修
8	横浜市こども青少年局主催研修	2	横浜市こども青少年局主催研修
	横浜女子短期大学主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	専門リーダー研修		横浜3園合同研修
9	横浜市こども青少年局主催研修	3	専門リーダー研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区施設長会
	専門リーダー研修		

* 各月 園内研修（平成30年度は、保育指針の改定のポイントについて学ぶ予定）

以上